



晴天の心

立教187年12月号
大阪府富田林市寿町4-9-10
URL:www.tomiishi.net

TEL:0721-23-3466 090-5243-4669



月次祭 12月19日(木) 午前10時～
婦人会例会 12月9日(月) 午前10時～



第3回ようぼく一斉活動日の南河内支部錦会場で、「ひとたすけたら我が身たすかる」というテーマで、講話をいたしました。この日の参加者は30名。他支部からの参加者や、前回から続けての方もおられました。本部からのメッセージVTRに続いて約45分、できるだけゆっくり話すように心がけながら間違えてはいけないところだけ原稿を読むようにして、一所懸命話しました。参加された方のところが何か前に向けて一歩進もうという気持ちになれば幸いです。

キーワードは、「あなたの大切な人の笑顔を思い浮かべてください。そして、その笑顔を守るために自分にできることを考えましょう。そしてそれが見つかったならそれに向かって一歩踏み出しましょう。その笑顔になってもらいたい人を少しずつ増やしていくことが陽気ぐらしへと進む第1歩だと思います」

朝夕のおつとめをするときに、この笑顔になってもらえることを考えることから始める。朝、家を出るときにちょっと鏡に前で笑顔を作ってみる。これが自分の内面を磨き育てることに繋がると思います。どうぞ、一歩踏み出しましょう。

富石分教会動画チャンネル好評更新中！

10月9日から11月9日まで毎日お話などを投稿してきました。お話は30分程度のものが多いのですが、やはり、講話のタイトルによって再生回数に差があります。どのお話に心が引かれるか？それが、今、神様があなたに伝えたいものなのだと思います。

ドキュメンタリー「本当の神様」は、最後の最後まで見ることで、ホントびっくり仰天します。スマホでも見るができます。ページトップのQRコードからアクセス下さい。

今日の
おやのことば



「天の言葉や」

何処の国にも彼処の国にも

あったものやない。

神が入り込んで教祖教えたもの。

その教祖の言葉は天の言葉や。

おさしづ 明治34年5月25日

「おさしづ」を毎日拝読するようになって感じることは、日常生活の中で原典をひもとき、親神様のお言葉にふれる機会をつくるのが、私たちの人生を豊かにしてくれるということです。

若いころから何でもくよくよと考え、落ち込みやすい性格なのですが、最近は少しおおらかになれたような気がします。

また、先々のことを不安に思い、なかなか決心のつかない性格なのですが、現状を素直に受けとめて、あまり思い悩まないようになってきました。

これまで以上に家族の健康や自然の恵みに感謝し、喜びを感じられるようになったことも、大きな変化の一つといえるでしょう。「おやのことば」を通して、自分と世界を見つめ直すことで、自然と心の持ち方が変わってきたのです。

「何処の国にも彼処の国にもあったものやない。
神が入り込んで教祖教えたもの。
その教祖の言葉は天の言葉や」

「月日のやしろ」としての教祖を通して伝えられた親神様の教えには、この世界と人生についての、すべての問いに対する答えがあります。身近に原典を拝する機会を与えていただいた私たちは、毎日の生活の中で「天の言葉」を拝読し、少しでも親神様の思召に近づく生き方を求めていくべきでしょう。

いまに残された原典を精読しながら、親神様・教祖の親心をより深く感じていきたい。こんな思いを抱きながら、今日も「おさしづ」のページをめくっています。(岡)

おさしづ 本文

明治三十四年五月二十五日

昨日より本席御身上大変のぼせると仰せあり、御障り中本日朝増井りん教祖赤衣仕立て下されし事に付申し上げ下され、それよりだん／＼御話ありて本部員残らず寄せと仰せあるにより、一同打ち揃い御話（御敷布団しかず御坐りでおさしづ）

(前略)

さあ／＼皆々心さえこうと言え、こうであろう。今日という、今日は皆々同等席するは、よく聞き分け。今日までは、どういう事もこういう事も、皆見遁してあったのや。さしづ／＼用いらんものなら、席は要らんもの。世上はどういう事、第一小さいようなもの。小さいようなものやなれど、その小さいものが大きい成ったもの。

何処の国にも彼処の国にもあったものやない。神が入り込んで教祖教えたもの。その教祖の言葉は天の言葉や。どうやろこうやろうと、そこへ教祖入り込み、天より直ぐと映したのや。今日無駄にしてはならん／＼。真から無駄にする。

これまで聞いて居て、治めさゝんが今日の日になったる。第一一つ世上へ人々へ守り渡す。悪難除け。これ分からん。勝手にして居た。それよりだん／＼改めて、教祖しっかり渡し授けたる。これ小さいもの。小さいものが何程大切とも分からん。改めて一つの理、とんとどうならん。一度はそこえ／＼と言うたもの。又勝手にしよう／＼。これ第一いかん、第一ならん。この勝手一つ、又、何よしてからこう、これもいかん。



これもと金銭づくでする事はどうでもなる。なれど、心を養う理は、金銭ではいかん。これしっかり聞き分け。勝手はならん。金銭で出ける事は小さい。金銭は構わんようなものなれど、それは皆道から出けたもの。道から出けたものなら、それはその運び方も、それ／＼心無くばなろうまい。(後略)

おさしづ本文を読むと、前後にも様々なことが書かれていて、本当に内容が深い。

「心を養う理は、金銭ではいかん」なんだか今の世の中は、お金主体になっていることから様々な問題が発生している。その根本は、心が養われていないから、に繋がるように思案しました。効率を追い求め誰もが使いやすく様に工夫されている様々なものやシステムですが、そのシステムには、直接人が関わらなくて良いように作られていることが増えたように思います。例えば、JRや飛行機のチケットは事前にインターネットで予約しておけば、予約番号やQRコードで自動券売機で発券できたりQRコードで飛行機に搭乗できたりしますね。銀行では、少し前までは窓口があって対話しながら結構業務をしていたと思うのですが、店舗によってはATMのみの店舗があったり、窓口も以前と比べて少なくなったと思います。宅配便の置き配。在宅中であっても呼び鈴を押すことなく、置いて帰りましたという写真だけが送られてきます。人手不足と対面することのストレスを避けるということなのでしょう。効率と人権を考慮したシステムでありそれはそれで便利なのですが、何か欠落してしまったように思います。挨拶であったりちょっとした会話からができなくなってしまっている。心を養うことが奪われているとも感じました。

先日の葬儀で待っているときに、葬儀会館の人が最近の人は、何処かおかしい。宗教を聞いて神道ですというので、御霊遷と告別式で2日かかりますよと言うと、それじゃ仏教で1日でしてほしいと言う始末。宗派を聞いたら適当に選んでと言われたとか。なんだかとんでもないことになりつつあると思いました

今のシステムがすべて悪いわけではないので、とても難しいことだと思えます。せめて、家庭内だけでも会話を通じて心を養うことが必要だと思えました。



様々な形で各種支援活動をされている方たち、
実働されている方たちがたくさんおられます。自分自身でその人を支えるのも支援活動。
また、機会が合えば一緒に行動することも支援活動。
貴方の大切な人の笑顔を思い浮かべて下さい。
その笑顔を守るために何をすればいいのか考えてみましょう。
そしてその笑顔になって元気になってもらいたい人を、少しずつ増やすことが出来たなら、
きっとみんなの笑顔で陽気な世界が広がると思いませんか？
まずは、どんな活動をされているのか見て知ることからはじめましょう。
そして、一歩踏み出しましょう。

AINE (赤崎 真理子)大阪府枚方市
<https://www.ameba.jp/profile/general/ainechan-marathon/>
 赤崎 真理子
<https://www.facebook.com/mariko.akasaki>



一般社団法人四つ葉 (高橋 伸実) 宮城県大崎市
<https://yotsuba-hachidori.com/>
 高橋 伸実
<https://www.facebook.com/nobumi.takahashi>



一般社団法人コミュニティスペースうみねこ (八木 純子) 宮城県牡鹿郡女川町
<https://www.onagawa-umineko.com/>
 八木 純子
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100002935443863>



NPO 法人有明支縁会 (草野 紀視子) 長崎県諫早市
<https://www.tasukeaitai.org/>
 草野 紀視子
<https://www.facebook.com/kimiko.kusano.9>



公益財団法人 風に立つライオン基金
<https://lion.or.jp/>
<https://www.facebook.com/lion.foundation/>



全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター
<https://www.saigaivc.com/>



全国社会福祉協議会
<https://www.shakyo.or.jp/>



先日、珠洲神社まで走りましたが、まだまだ大変な状況が続いているのを目の当たりにしてどうすることが長く支援を続けることに繋がるのかを考えさせられました。

幹線道路の能登里山道も 40km 規制の箇所が多く途中からクランクや亀裂、段差がたくさんありそれでも各地で懸命に補修作業をしているのが目にとまりました。

また、尾根一つの差で水害から免れ見事に刈り取られた田んぼ、尾根を越えると川の氾濫で流木に埋め尽くされた田畑。心痛む光景でした。

今後とも情報を確認して出来ることを継続して支援につなげたいと強く思いました。

どうぞ、QR コードから各サイトを見ていただいて、自分にできることがあれば、一步踏み出して見ましょう。

